

水素関連書籍の紹介、 「私は万病でも水素で治します」

著者：白川太郎 医学博士
京都大学大学院医学研究科教授
発行日：2021年9月10日
(2021年7月発行の改訂版)



「万病でも水素で治す」と明言される著者の白川氏は、オックスフォード大学呼吸器講師、京都大学大学院の医学講師などを経た現在、臨床研究に打ち込み、今では癌のステージ4という生存率5%といわれる患者さんたちの約8割の方を生存させている、という実績をあげられています。白川氏は、水素は地球上最小の分子であり、副作用を起こさず、あらゆる病気の原因である活性酸素の除去ができるという効能を、多くの臨床例とともに紹介されています。また、西洋医学だけではなく、東洋医学や代替療法を組み入れた医療を提唱されている帯津良一先生のお話も共に紹介されており、治療だけではなく、今後の予防医学に水素が持つ役割、有効性がより分かりやすい形で提唱されています。

ますます有効性が証明されていく水素。今後、人々の健康に対してますます一役を担っていくのではないのでしょうか。

季節の変わり目の体調の変化

夏から秋に変わり生じる体調の変化

夏の冷房による冷え、また、冷たい食べ物や飲み物を摂取してきたことによる胃腸機能低下、それに加わり、朝晩の気温差が胃腸機能の低下をさらに推し進めます。さらに、寒暖差により自律神経が乱れ、体のだるさや疲れ、アレルギー反応を発症しやすくなります（寒暖差アレルギー-鼻炎）となります。また、空気の乾燥により汗をかいてもすぐ乾いてしまうため、水分を失っていることに気づかずに水分不足や喉の痛みを発生しやすくなること、日照時間が短くなり、季節性うつ病への発症リスクがあります。

秋の旬の食材を取り入れてしっかりと栄養補給をし、きちんと水分補給をしましょう。また、日光を浴び、規則正しい生活で自律神経を安定させることが有効です。

気温も下がり始め、だんだんと秋も深めいてきました。秋、冬と空気が乾燥する季節。精密機器にとっては負荷がかかる季節でもあります。水素吸入をする際は、加湿器で部屋の湿度を保ち、静電気の発生に気を付けることをおすすめします。

MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-24-5

協新ビルディング401号室

TEL 03-5669-0986

FAX 03-5669-0987

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/

編集後記
非常事態宣言も明け、日常生活が少しずつ戻りつつあるの感じますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

このままコロナによる影響が小さくなるのを願うばかりですが、これからも自身の健康維持、免疫力を高める生活を維持し、予防を心がけていきたいものです。



MINTECH 水素発生器 MT-A100